



2学期がスタート

～どの子も輝き、楽しめる運動会に～



中秋の名月。暦の上では、秋が到来です。しかしまだまだ暑い日が続いています。42日間の夏休みを存分に楽しみ、真っ黒に日焼けした子ども達が学校にもどってきました。学校と家庭の連携により、すべての普二っ子が元気に2学期を迎えられたことを、本当に嬉しく思います。子ども達に与えられた素敵な時間「夏休み」は、きっとご家族で過ごす時間も増え、親子で一緒に体験し、団らんを深めることができたことでしょう。子ども達の笑顔から、休みの充実ぶりが覗えました。ご家庭の協力に感謝申し上げます。

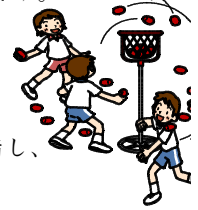
ところで、来月10月2日(日)は、子どもたちが待ちに待った運動会です。

運動会の主役は何と言っても子どもたちです。運動会では全職員が一丸となって、子どもたち

一人一人がかけこやリレー、リズム、団体競技や係活動などで、自己の運動能力の向上を目指し、個々の子どもがその持てる力を十分に発揮できるように最善の支援をしたいと考えています。

また、運動会が学校行事のみならず、保護者、地域の皆さんの参加・協力を得て、地域行事の一つとして、保護者や地域住民の交流の機会としても役立てることができたらと願っています。どうか保護者や地域住民の皆さんには、我が子が出場する種目だけでなく、全児童の入場行進から閉会式の終了まで、温かく見守っていただければ幸いです。

さて、これから2学期は、実りの秋、収穫の秋でもあります。また、読書の秋、スポーツの秋でもあり、文字どおり、学習や運動をするのに最適な季節が到来してきます。子どもたちが、読書をはじめ、スポーツや文化活動など、目標を持ってあらゆることに挑戦してほしいものです。



ご報告

～ 「ありがとう ございました」 ～

夏休み期間中の8月10日(水)に5名の保護者・地域の方々、本校の「給食エプロン」のほころび直しを行っていただきました。心よりお礼を申し上げます。

何でも買える今日この頃ですが、手直しすることで、ほころびを繕うことで、また使えることの喜びを感じる子、物を大切にする子に育つと考えます。本当にありがとうございました。下記は、お手伝いをして下さった方々です。



- ※呉屋 清美さん
(地域コーディネーター)
- ※大城 美香さん
(1年1組:ゆうじ)
- ※仲宗根 尚子さん
(1年1組:カイリ)
- ※川村 明子さん
(1年4組:かのん)
- ※根路銘 みさとさん
(1年2組:ろん)

PTA作業



9月11日(日)9:00～本年度第1回のPTA作業がありました。多くの保護者・児童のご参加にお礼を申し上げます。おかげさまで、校庭もきれいになりました。また、小学校・幼稚園も校舎周辺の溝さらいをお父さん方々のお力をお借りしてきれいにすることができました。心よりお礼を申し上げます。一週間前には、野球部・サッカー部も児童と共に作業をしてきています。気持ちよく運動会を迎えられそうです。ありがとうございました。

しまくとぅばの日(9月18日)



昨年、国連の人種差別撤廃委員会は9月29日、日本政府に対し消滅の危機にある琉球諸語(しまくとぅば)の使用促進や、保護策が十分に行われていないと指摘。

教科書に琉球の歴史や文化が十分に反映されていないとして、対策を講じるように勧告するとその新聞記事がありました。沖縄県も「しまくとぅばが消滅すれば県民の郷土愛等も失われ、結果的に沖縄文化の衰退へと繋がるものと危惧される」として「しまくとぅばの日」として平成18年に県議会で制定され県民運動として取り組まれてきています。

県教育委員会では、学校教育の指導の努力点において、確かな学力の向上の他、地域の自然・歴史・文化の推進を行っております。学校では総合学習等で取り入れていきます。ご家庭・地域でも機会ある事に「しまくとぅば」や伝統芸能等の伝承を意識して取り組んでいただける事をお願い致します。

主任民生児童委員 末吉亮さん

地域の強力な応援者の方々(民生員)との顔合わせを9月1日に行いました。困ったことを相談できる関係づくり(連携)をしていきたいと思っています。

☆「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～三行詩～

本事業は、都市化、核家族化、少子化など子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化する中、改めて、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルールづくり、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくため、社団法人日本PTA全国協議会との共催により実施したものです。

○文部科学大臣賞

◆小学生の部

大津波 父さんの店をのみこんだ 父さん負けるな私がつぐその日まで
(西村 沙弥 宮城県宮城郡松島町 小学校4年生)

◆中学生の部

そっと頭をなでる母の手が やさしくて 寝たふりをする
(秋山 椎名 愛媛県今治市 中学校1年生)

◆一般の部

家庭菜園 似てます なぜか うちの子に 不揃いだけど 味がある
(小寺 優子 愛知県名古屋市)

○厚生労働大臣賞

◆小学生の部

ちょっとのがまんは？「幸せの素」 みんなの笑顔は？「元気の素」
あいさつは？「仲良しの素」
(鍛治 美里 長崎県佐世保市 小学校4年生)

◆中学生の部

母の作るお弁当 残さず食べるが私のルール 苦手な野菜が必ず一つ
母の想いにごちそうさま
(三浦 未久 埼玉県北葛飾郡杉戸町 中学校1年生)

◆一般の部

「迎えに行って」と妻が言う 面倒臭いと思いつつ 来て良かったと思う 夜の駅
(板坂 剛 石川県羽咋市)

○社団法人日本PTA全国協議会会長賞

◆小学生の部

いつも口うるさいお母さん だけど内緒で数えてたら 優しい方が多かった。
(渡辺 美優 宮城県気仙沼市 小学校6年生)

◆中学生の部

地震おき 着信りれきに 「父」いっぱい
(坂井 珠理 神奈川県横浜市 中学校1年生)

◆一般の部

父さんは、しかる役 母さんは、なだめ役 そして、おまえは、のびる役
(真下 秀生 富山県魚津市)

○「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞

◆小学生の部

トントントン台所から聞こえる 母の包丁の音 わたしの大事な目覚まし時計
(堤 理子 鹿児島県阿久根市 小学校5年生)

◆中学生の部

電気を消して早寝をしよう！ 僕でもできる節電対策。 勉強したのと母の声。
(柏木 優輝 三重県亀山市 中学校3年生)

◆一般の部

夜の九時 布団の上はにぎやかな 我が家の ふれあい動物園
(田近 京子 神奈川県横浜市)

～一人一人を大切に～

『親学塾』喜多川 泰さんの講話を聞いて
人は生まれてしばらくは、「ヒト」という動物である。周りの人々から愛され、大切に糸を紡ぐようにていねいに生まれ
「人間」となる…。悲しいことも嬉しいこともすぐに気づくことができる親子の関係づくりは「人間」となるために不可欠
である。忙しすぎて…子ども目を見ていない日々。大事なものをかけがえのないものを見落としてしまいます。変
化に気づくには、日頃の親子関係を大切にしましょう。そこから、生きていく力も育まれるのです。(喜多川 泰)
私たち、教師も一人一人を大切に教育をさらに推進していきます。どうぞ、何かありましたら、いつでも相談に
きてください。共に『子どものために…』できることを考えていけたらと願います。